

都市機能の整った快適なまち推進プラン

【事業進行管理表】



事業名 **市営住宅整備事業**

【総合計画の体系】 第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち
 4-4 2 4 都市機能の整った快適なまち

所管名 1560 都市整備課 リーディング事業 基幹計画事業 計画事業費【2015～2022年度】 754,054 千円

事業概要
目的 健康で文化的な生活を営むことができる市営住宅を計画的に整備する。
 (老朽化した市営住宅を統廃合し、池子住宅に続き、桜山住宅を建替える。)
対象 市営住宅の利用者及びこれから市営住宅を必要とする市民
手段 市営住宅管理計画に基づき、市営住宅の計画的な整備・配置を実施するとともに、既存市営住宅のバリアフリー化を推進する。

	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
年度別計画	○既存市営住宅のバリアフリー化	→→→→→	→→→→→	→→→→→

	目標【2022(令和4)年度】	現状【2013年度末】
	市営住宅のバリアフリー化率が100パーセントになっている。	59パーセント

<2022年度 進捗状況> 事業費(2022(令和4)年度実績額) 0 円

実施結果
 2019年度に策定した市営住宅長寿命化計画において、住宅需要推計により2024年度(令和6年)度には、小坪滝ヶ谷第3住宅は不要となる結果を得た。バリアフリー化されていない小坪滝ヶ谷第3住宅(沼間南台住宅、池子住宅や桜山住宅はバリアフリー化済)については、入居者を他の市営住宅に移転してもらい、用途廃止する方向で進めている。

反省点・問題点
 工夫している点 小坪滝ヶ谷第3住宅の入居者には国費を活用した移転費助成を支払い、他の市営住宅に移転してもらい、早期の用途廃止を推進している。

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
バリアフリー化率86.8%(全114戸のうち99戸)。ただし、バリアフリー化されていない小坪滝ヶ谷第3住宅については、2024年度以降、市営住宅長寿命化計画により不要と整理するため、バリアフリー化完了	ア目標を達成できた		(a) 本事業の目的は達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

事業目標は達成しており、評価としては妥当であると考えます。	審議会等が妥当と考える評価区分
	(a) 本事業の目的は達成できた

都市機能の整った快適なまち推進プラン

【事業進行管理表】



事業名	JR東逗子駅前用地活用事業		
-----	---------------	--	--

【総合計画の体系】	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち		
4-4 1	4 都市機能の整った快適なまち		

所管名	1110	企画課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	15,300千円
-----	------	-----	--	--------------------	----------

事業概要	目的	JR東逗子駅前の旧国鉄清算事業団用地を有効活用することで、駅周辺の快適性・利便性を向上させるとともに、活性化を図る。				
	対象	市、市民、事業者				
	手段	市民や事業者、地権者との合意形成を図り、用地活用計画を策定する。また、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、施設整備を行う。				

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○民間資金等の活用 の検討 ○事業者選定		○施設整備に係る実 施設計	○施設整備工事

目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】	
(仮称)JR東逗子駅前用地活用計画のもと、施設整備を行う。		計画の策定に着手していない。	

<2022年度 進捗状況>	事業費(2022(令和4)年度実績額)	0円
---------------	---------------------	----

実施結果	市民参加手続き(説明会・パブコメ)を実施の上、基本構想を策定した。		
------	-----------------------------------	--	--

反省点・問題点	事業予定地両側民有地の地権者と、交換により互いに使いやすい形状にして各々が活用する方向での交渉(協議不調)等に時間を要したことから、事業スケジュールが遅れることとなった。	工夫している点	国の補助金も活用して事業を進めていく。(令和6年度に基本設計、令和7年度に実施設計、令和8～9年度に施工を行い、令和9年度中に供用開始)
---------	---	---------	--

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
基本構想は策定したものの、施設整備には至っていない。	イ 目標を達成できなかった		(c) 本事業の目的は達成できなかった

<審議会・懇話会等の意見>

ここ1、2年の取組みが非常に順調で、さらに具体的な年度ごとのスケジュールも出ているので、目標は達成できなかったが、事業としては良い評価である。	審議会等が妥当と考える評価区分
	(c) 本事業の目的は達成できなかった